

# 小規模多機能型 居宅介護(東部)

## プレゼンテーション

福の種合同会社

社長 木村 徹

新規事業開設準備室長

下村 美穂

2020年1月15日

# 1、基本理念 法人紹介と応募の動機



モットー  
「笑顔人口を増やします！」



平成23年 法人設立 福の種合同会社  
平成24年～26年 アルコデイトレセンター 通所介護 3か所開設  
平成27年 居宅介護支援事業所開設  
平成29～30年 企業主導型保育園 3か所開園 北環状線エリア  
★高知市介護保険課主催「高知介護カフェ」の運営サポート  
★県外講師による研修を複数回高知市後援の下で開催

- 重度になって遠くの施設に入所する現実 →地域からの切り離し
- 状況変化の度に利用サービスを変更すると大きな負担に  
→介護事業所を新たに探す負担 →新しい環境への不安
- このような負担や不安を解消し、サービス組み合わせの自由度が高いところが小規模多機能型居宅介護の特徴。「包括報酬型」在宅サービスの機能と役割の更なる拡充へ。
- 利用者がどのように地域とのつながりを継続させていくといった視点が重要。小規模多機能型居宅介護を地域づくりの拠点として事業を展開する志を持ち、第一歩として今回の応募に至る

# 小規模多機能型 居宅介護

地域に根ざした小規模の施設であるため、「通い」「訪問」「泊まり」等のサービスを、同じスタッフが提供。連続性のあるケア、場所やスタッフへの馴染み、安心感が得られやすい。

## 当法人が開設した場合

日々の介護にリハビリテーションの視点を入れることを重視。生活課題の解決に務め、重度になっても利用者のしたいことを支えるためにはリハビリテーションの視点が必須。また、利用者のみならず、地域住民の介護予防や集いの場の提供、役割の創出、他の社会資源との共生までを使命とする。

➔医療・介護・地域リハの経験が豊富なリハ専門職を配置する。配置基準にはないが、リハ専門職の視点や手法を他職種で理解し共有することが地域密着型サービスを生かすために非常に重要と考える。

通所サービス




訪問介護



泊まり



地域交流の拠点に



## 2、非常災害に対する 地域連携

---

- ・消防署と連携し，利用者も参加する避難・消火訓練を年2回以上実施
- ・地域で実施される避難訓練や防災イベントに積極的に参加
- ・地域住民と協力した防災訓練(避難)を年1回以上実施  
(日頃からの地域住民との交流をベースに)
- ・南海大地震を想定した避難訓練及び備蓄食料の活用練習を年に2回以上実施する(津波避難ビル(介良小等)及び施設北側の高台等)

\* 開設予定地: 高知市介良乙の浸水予測

地震発生後60分以降に浸水

浸水深度は1.0~2.0m

# 自立支援の考え方

---

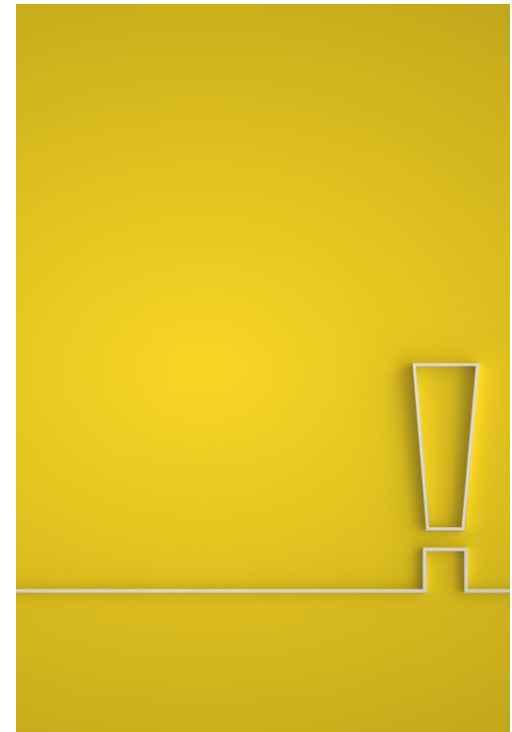
自立・自律と  
いうけど……?????

「自分のことは、自分でしたい！」  
「自分のことは、自分で決めたい」  
「自分のことは、自分で……」  
「他人に迷惑を掛けたくない！」

たとえ、**歳**をとっても

たとえ、**身体が不自由**になっても

たとえ、**認知症**になっても……



わたしたちが  
考える  
自立支援とは



朝起きてから  
夜休むまでの間



食事・着替え・  
お化粧・トイレ



移動・休憩・  
TV・団欒



趣味などの

様々な生活行為があります



困りごとを解決  
するように支える



対象者がしたい  
ことを支える

~~お世話型~~

~~一律のケア~~

## 3・4

サービスの質  
(個別処遇)  
(事業所全体)

---

1) アセスメント技術の向上

---

2) 生活行為向上プログラムの実践

---

3) 認知症ケアの実践

---

4) 地域連携

---

5) 医療・介護連携

---

6) 苦情を言いやすい体制づくり

---

# 1) アセスメント技術の向上

---

聞き取りを重視 ➡ 興味・関心チェックシートの活用

---

生活行為の実際場面でアセスメント

---

➡ ADL・IADL遂行状況チェックリストの活用

---

➡ 訪問介護にはリハ職も従事

---

勉強会・事例検討会を定期開催

---

➡ ICFに沿った評価・計画立案の徹底 施設ケアマネも



## 興味・関心チェックシート

生活行為	している	してみたい	興味がある	生活行為	している	してみたい	興味がある
自分でトイレへ行く				生涯学習・歴史			
一人でお風呂に入る				読書			
自分で服を着る				俳句			
自分で食べる				書道・習字			
歯磨きをする				絵を描く・絵手紙			
身だしなみを整える				パソコン・ワープロ			
好きな時に眠る				写真			
掃除・整理整頓				映画・観劇・演奏会			
料理を作る				お茶・お花			
買い物				歌を歌う・カラオケ			
家や庭の手入れ・世話				音楽を聴く・楽器演奏			
洗濯・洗濯物たたみ				将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等			
自転車・車の運転				体操・運動			
電車・バスでの外出				散歩			
孫・子供の世話				ゴルフ・グラウンドゴルフ・水泳 ・テニスなどのスポーツ			
動物の世話				ダンス・踊り			
友達とおしゃべり・遊ぶ				野球・相撲等観戦			
家族・親戚との団らん				競馬・競輪・競艇・パチンコ			
デート・異性との交流				編み物			
居酒屋に行く				針仕事			
ボランティア				畑仕事			
地域活動(町内会・老人クラブ)				賞金を伴う仕事			
お参り・宗教活動				旅行・温泉			
その他( )				その他( )			
その他( )				その他( )			

# 興味・関心 チェックシート

漠然とした思い

「良くなりたい」

「元気になりたい」



「●●がしたい」

「●●がまたやれたら」

ニーズ把握に有効

# ADL・IADL 遂行状況 チェックリスト





■ 基本的に自宅で実際の生活行為を確認する

■ 「できること」「できないこと」の能力評価

■ 過剰介助の防止

■ 無理な動作・リスク回避

■ 生活課題の解決の糸口  
にできる

自立度	工程	課題の抽出・目標の設定	動作工程イメージ	訓練の応用
	前開き	<input checked="" type="checkbox"/> 服の形状を確認できる <input checked="" type="checkbox"/> 更衣の手順を認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 安定した立位をとることができる <input checked="" type="checkbox"/> 安定した座位をとることができる <input checked="" type="checkbox"/> 服に対して上肢をうまく操作できる <input checked="" type="checkbox"/> 手指をうまく使うことができる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	前開き 	<input type="checkbox"/> 応用座位訓練 <input type="checkbox"/> 応用立位訓練 <input type="checkbox"/> 上肢訓練 <input type="checkbox"/> 手指訓練
	かぶり物	<input checked="" type="checkbox"/> 服の形状を確認できる <input checked="" type="checkbox"/> 更衣の手順を認識できる <input checked="" type="checkbox"/> 安定した立位をとることができる <input checked="" type="checkbox"/> 安定した座位をとることができる <input checked="" type="checkbox"/> 服に対して上肢をうまく操作できる <input checked="" type="checkbox"/> 手指をうまく使うことができる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	かぶり物 	<input type="checkbox"/> 応用座位訓練 <input type="checkbox"/> 応用立位訓練 <input type="checkbox"/> 上肢訓練 <input type="checkbox"/> 手指訓練
	下衣更衣	<input type="checkbox"/> 服の形状を確認できる <input type="checkbox"/> 更衣の手順を認識できる <input type="checkbox"/> 安定した座位をとることができる <input type="checkbox"/> 安定した立位をとることができる <input type="checkbox"/> 上肢をうまく使うことができる <input type="checkbox"/> 手指をうまく使うことができる <input type="checkbox"/> 下肢をうまく動かすことができる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	下衣更衣 	<input type="checkbox"/> 応用座位訓練 <input type="checkbox"/> 応用立位訓練 <input type="checkbox"/> 上肢訓練 <input type="checkbox"/> 手指訓練 <input type="checkbox"/> 下肢訓練
	靴下	<input type="checkbox"/> 靴下の左右表裏を確認できる <input type="checkbox"/> 安定した立位をとることができる <input type="checkbox"/> 安定した座位をとることができる <input type="checkbox"/> 上肢をうまく使うことができる <input type="checkbox"/> 手指をうまく使うことができる <input type="checkbox"/> 体幹・下肢をうまく動かすことができる <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	靴下 	<input type="checkbox"/> 応用座位訓練 <input type="checkbox"/> 応用立位訓練 <input type="checkbox"/> 上肢訓練 <input type="checkbox"/> 手指訓練 <input type="checkbox"/> 下肢訓練

## CHECK ①

片麻痺の方など片方の上肢の動きが不十分な方は…

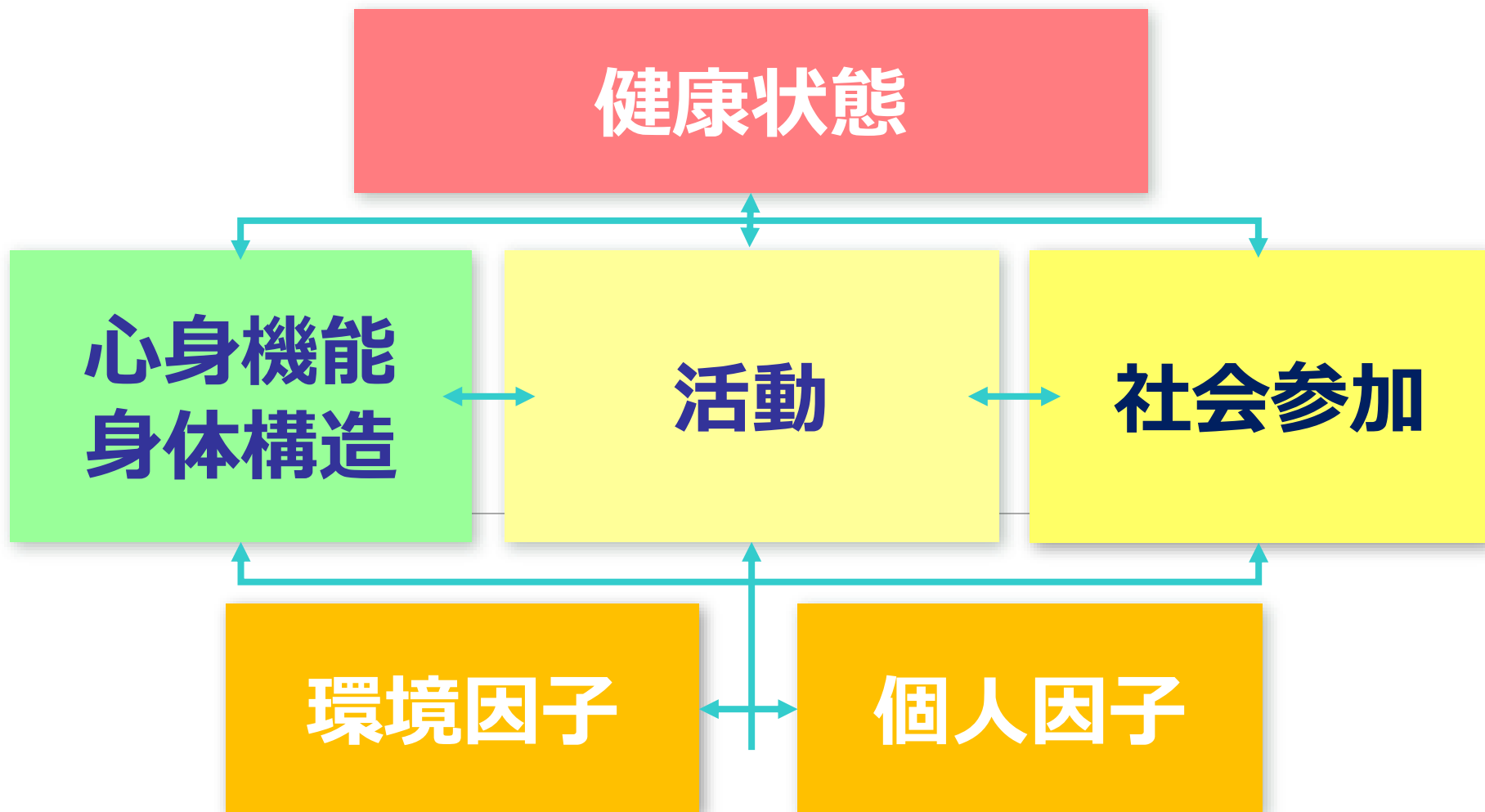
着るときには、麻痺側（動きにくい方）から。脱ぐときには、非麻痺側（動きやすい方）から。行うと良いです！

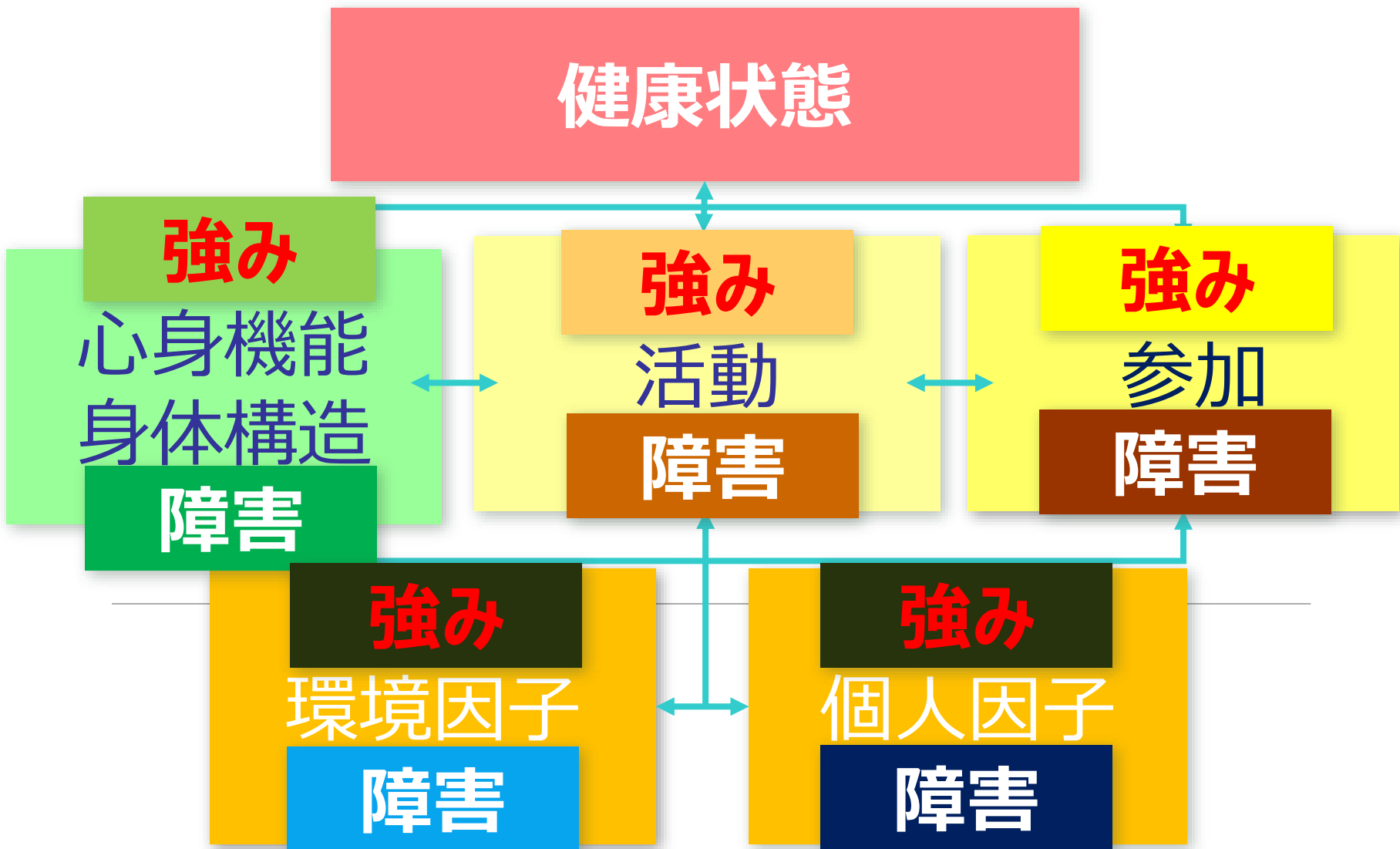
## CHECK ②

靴下の着脱を助ける「ソックスエイド」、ボタンの止め外しを助ける「ボタンエイド」などの自助具もあります。動作が獲得できるまでの間、使用するのも良いと思います。

# ICF (国際機能分類)

それぞれの弱み(阻害因子)と強み(促進因子)を知る作業





## 2) 生活行為向上の 取り組み

できることは継続できるように支援  
生活課題を解決するための支援

通所

過ごし方を決める、上着をハンガーにかける、  
血圧を測る、飲み物や食事の準備、花の世話等  
・得意を生かした活動、興味のある活動への参加  
・生活課題への集中的な練習

自宅

訪問介護スタッフのサポートの下、ADL・IADLを継続  
環境調整  
(住宅改修の提案や福祉用具の導入)  
家族指導  
➡介護負担・転倒等のリスクを軽減し生活行為が  
継続できるように

# 通所のメリットを生かした取り組み ＝交流を含めたグループ活動が可能



- ★障害像や課題が共通するグループ
- ★利用者が先生と生徒の役割をとるグループ
- ★趣味や興味関心が共通するグループ
- ★期間と作業内容を限定(依頼)するグループ



オープンに呼びかけてその時々で  
創作を楽しむようなグループ





# 取り組み例

## 障害像や課題が共通する グループ活動

例) パーキンソン病の人のための  
生活リハビリと運動療法グループ

やりたいことの確認

運動療法

自宅トレーニングの指導

生活のコツ共有

「友の会」への参加体験

パーキンソン病がテーマの公開講座への  
参加(家族も)

やりたいことの実行状況・満足度の確認

# 生活課題への集中的な介入

## 例) 更衣動作強化プログラム

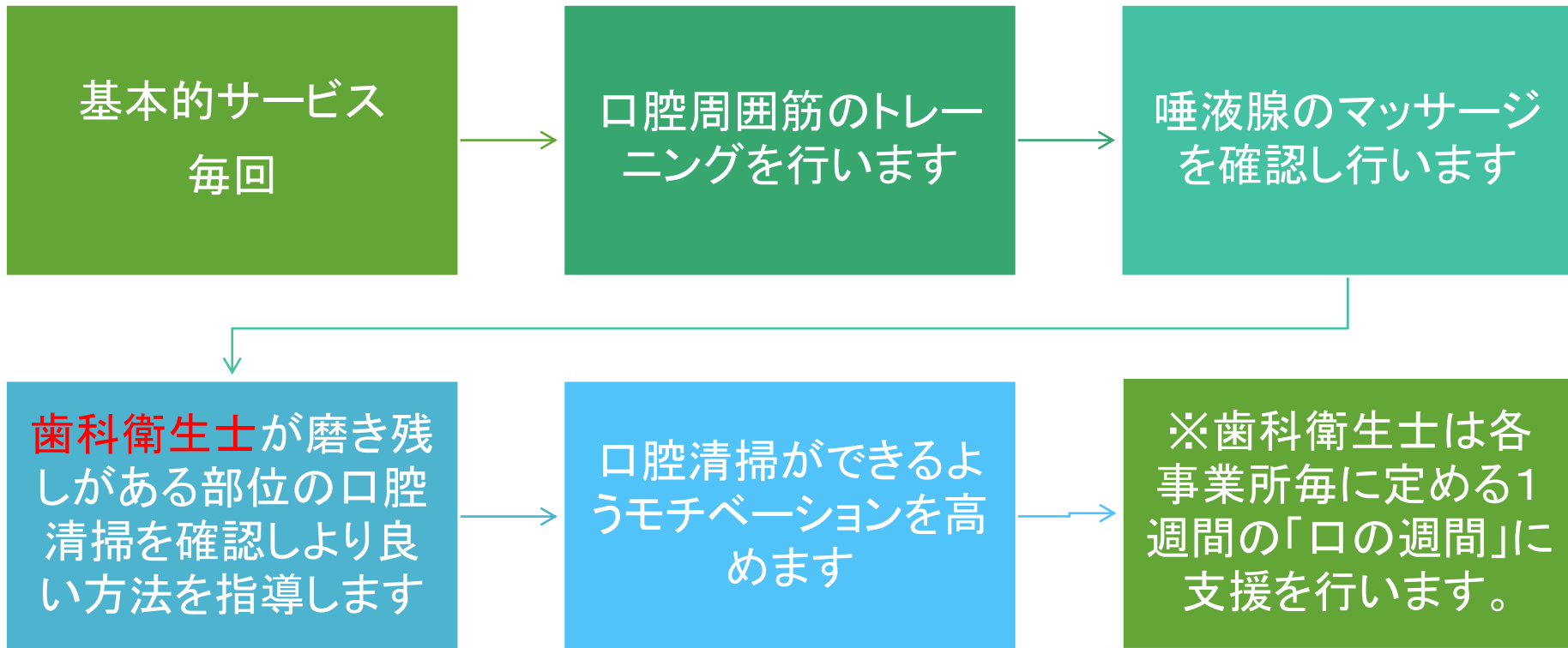
---

- 対象: 脳卒中後の片麻痺の方
- 内容: 効率よく着替えができるようになるために  
下記のプログラムを予定
  - ①実践練習
  - ②自助具の紹介と活用練習
  - ③利用者間での情報共有
  - ④身体メンテナンス
- 期間: ◇月◇日～◇月◇日までの計8回コース





# 例) 口腔機能向上プログラム



# 口腔体操





# 3) 認知症ケアの実践 ＝理由をさぐるケア

---

- 出現したBPSDに対し、その都度場当たりのな対処をするのではなく、行動の特性とその人の背景因子との関連の可能性を探り、BPSDを誘発しないような環境を調整し、よりよいケアの方法を検討する

- 認知症初期の頃からの支援を重視する

(訪問介護の際に実際の生活場面で実践)

・買い物のヒント ・調理のヒント ・電化製品使用のヒント等

## 排泄動作介助量軽減への支援例

70歳代 女性 要介護度3  
レビー小体型認知症

トイレが自分でできるように  
なればいいけど…(無理だと思う)



夫

- 尿意 → 自らトイレに行かずに夫に知らせる
- 下衣の着脱 → 声を掛けないと始まらない、時間がかかる
- 便座に対して体の向きを整えられない → 間に合わず漏らす
- 夜間 → 間違えて台所の方へ行こうとする

空間認知  
障害

遂行機能  
障害

パーキンソ  
ニズム

通所での評価・練習  
自宅での評価・指導

## 家族との相談を経て・・・ 課題解決の工夫を家族と共有

通所では直接介助よりも次の動作を考えられるような声掛けをする

- ・ズボン上げ下げ
- ・紙捨て
- ・流すボタンの操作

一連の流れをつくる



便座に体をうまく合わせられる工夫

- ・自宅のトイレマットを交換(2対の柄)
- ・足を置く目印にする

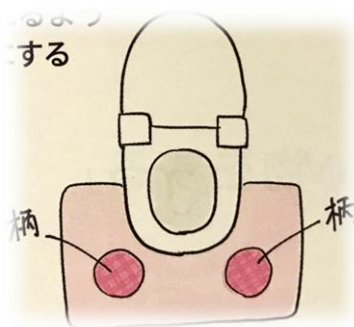
便座にうまく座れるようにする



夜間迷わない工夫

- ・トイレの前の廊下のみ点灯させておく
- ・台所方面の電灯は消灯

トイレの場所を認識しやすくする





# お世話・代行に終始しない 訪問介護

## 買い物のヒント

冷蔵庫の中の把握ができず、  
何を購入すればいいのかよくわからない

### 冷蔵庫リストの作成



- ・冷蔵庫の中は配置を決めておく
- ・飲み物や野菜、肉など常時使うものがなくなったら、冷蔵庫に貼った買い物リストに書き出す

- スーパーで購入予定の物を忘れて、同じものを買ってくる

### 買い物リストの作成



- ・買い物に行く前に買うもののリストをつくる
- ・リストをなくさないために、ポケットサイズのノートがおすすめ

# 調理のヒント

途中で何を作っていたかを忘れてしまう

## 視覚手掛かりによる代償



- ・調理台にボードを設置する
- ・メニューと材料を記載する
- ・何を作るか忘れてたら確認する
- ・材料の入れ忘れを確認する

- 鍋に火をかけたまま別のことに取り掛かってしまい、鍋を焦がしてしまう

## 事前の準備と 安全な用具の導入



- ・材料や調味料は準備しておく
- ・机や台に気がそれる物を置かない
- ・なるべく1工程ずつ行う
- ・センサー付きコンロや煙探知機を利用する

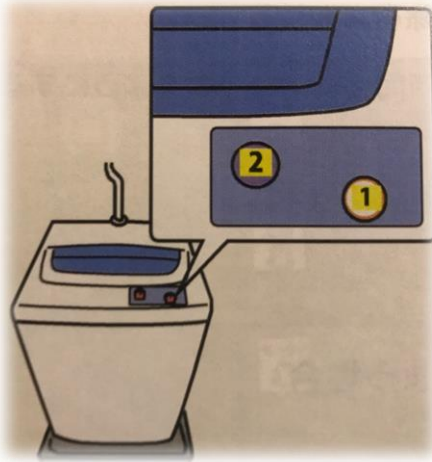


# 電化製品使用のヒント

洗濯機の操作がわからず混乱してしまう

■ 掃除機の使い方がわからなくなってしまう

## ラベルの活用



- ・使わないボタンを隠しておく
- ・使うボタンを蛍光色で目立たせる
- ・押す順番に数字を貼る

## ほうきやモップの活用



- ・掃除機でなく、箒やモップなど、その人にとって分かりやすい道具を使って部屋をきれいにする  
ことも有効



## 4) 地域との 連携

### 地域交流スペースの活用

食べたりお茶する場

学生が試験勉強や宿題に立ち寄れる場

文化的なサークル活動の場(貸し切り)

運動をきっかけに集う場

教える・習うをきっかけに集う場



## 5) 医療・介護連携

---

老人保健施設、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、介護医療院などを設置している社会福祉法人、医療機関の相談室や地域医療連携室等と連携し、重度の人でも在宅生活が送れるよう受け皿として機能する

- 喀痰吸引ができる介護スタッフを育成する
- 連携医療機関への相談を密に行う  
伊藤整形外科 なかやまクリニック ひまわり在宅診療所

# 6) 苦情を言いやすい体制づくり



「苦情」は「クレーム」ではなく、利用者からの警報(アラーム)と受け止めて、提供するサービスを見直す機会と捉える



職員は、利用者・家族等とのコミュニケーションを深め、常に良好な関係を保つことで、「不満」が蓄積される前に話し合える環境を築くように努める



施設の見やすい場所に「ご意見箱」を設置するなど、職員に直接でなくても「苦情」を伝えられ方法を講じる



苦情の内容・解決結果を施設内に掲示するなどの方法で公表する



その対応内容を今後のサービスの質や信頼の向上につなげるようにする

# 5、 安定した事業所 運営に向けて 利用者確保



老人保健施設、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟、介護医療院などを設置している社会福祉法人、医療機関の相談室や地域医療連携室等と連携する



住宅型有料老人ホームを併設し(予定)自宅等への復帰を目指すために老健等の施設、医療機関からの柔軟な受け入れ態勢を準備する



地域包括支援センターと連携する



ホームページを開設する



週1回はFacebookもしくはInstagramなどSNSで活動を発信し、地域住民の方に小規模多機能の内容を知ってもらう



セラピストを1名配置し、職員全体で地域での活動につながるリハビリテーションを実施する

# 6、その他

---

## インフォーマルサービスとの連携

住民主体の活動のお手伝い

障害当事者グループとの交流

## 介護予防事業等の総合事業への参画

地域ケア会議への参画 訪問サービスC型への参画

リハ職は必要研修を修了し参画

## 地域住民からの各種相談受付・アドバイス

例)車の運転に関する相談➡停止車両運転能力評価(評価インストラクター)

ご清聴  
ありがとうございました

これからも当法人は  
高知市の地域包括  
システム構築に微力  
ながら貢献します